

②戦略的スマート農業技術の実証・実装（継続課題の要求）

【令和6年度予算概算要求額 510（-）百万円】

＜対策のポイント＞

海外に依頼するところの大きい我が国の食料供給の安定化を図るため、**海外依存度の高い農業資材や労働力の削減、自給率の低い作物の生産性向上等、必要な技術の実証に取り組む**ことで生産現場のスマート化を加速します。

＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

＜事業の内容＞

戦略的スマート農業技術の実証・実装

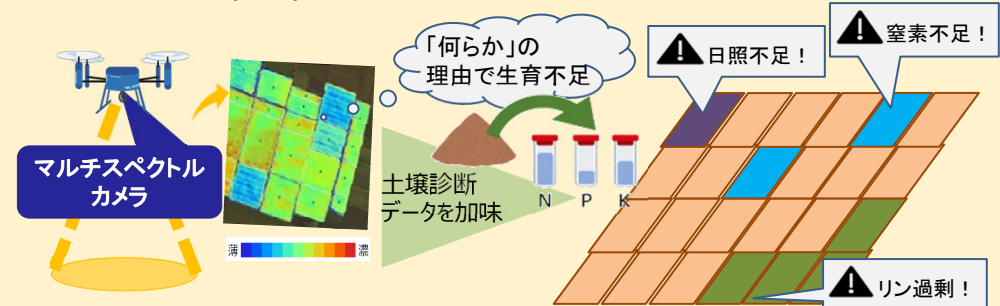
海外依存度の高い農業資材や労働力の削減、自給率の低い作物の生産性向上等を目指す取組の実証を行います。

＜事業イメージ＞

○実証するスマート農業技術のイメージ

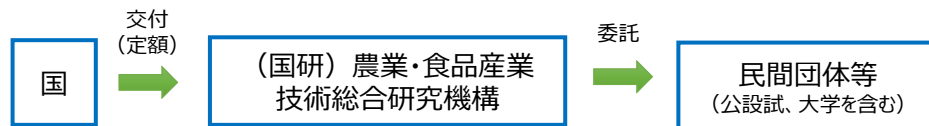
ドローンによるセンシング

「ほ場内のNDVI(生育)のバラつき」をマップ化



従来のセンシングによる肥料不足箇所の特定に加え、当該箇所の土壌診断データを加味することで、肥料成分ごとの必要量を正確に把握したうえでの可変施肥が可能となり、収量の向上と余分な肥料投与の抑制を両立。

＜事業の流れ＞



「スマート農業」の社会実装による食料供給の安定化